

ボランティアだより 2018・5月 150号

ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 TEL 0265-36-3778

編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。

新年度スタート！

できる人が できる時に できる事を 楽しんで♪



スイートボイス対面ボランティア♪

きっかけの会 袋づくり



去る3月27日、ボランティア連絡会の総会が社会福祉センターで行なわれました。年度始めの総会も兼ねることから、新しい役員に交替されたグループからは、新役員さんが出席され、自己紹介がてら活動報告していただきました。

どこのグループでも会員減少、高令化という問題を抱えながら、それぞれのグループが元気に活動されている様子がわかり、頭が下がる思いでした。又、社協より地域ボランティア活動への助成金を頂きました。各グループで活動の励みとなる様、有效地に使わせていただきたいと思います。

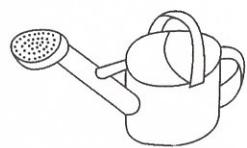
さて、そんな中役員改選という事になり、急きょ臨時総会が先日開かれました。今まで、はっきりした規約が無かったため、今年から「任期2年」という事で決まり会長という大役をお引き受けする事となりました。今までボランティアらしい活動をして来ない私のような者が会長でいいの?とも思いますが、ボランティアグループのつながり、会員さん同士の仲間づくりに、皆様のご協力を頂きながら、少しでもお役に立てればと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

ボランティア連絡会 会長 佐々木孝子

花てまりクラブ

一步ずつ…着実に…

西山 手塚 光雄



千葉県在住から定年退職を機に、エイターンで松川町に移住して早19年、りんご畑に囲まれた環境の中で、

温かくて楽しい友人に恵まれ、田舎暮しが楽しんであります。

今までインターを利用する度に、インターガーデンをただ通り過ぎていましたが、4、5年前にボランティアで、花壇の手入れをしている花てまりクラブにお説きを受け、微力ながら活動に参加させて頂き、努力が良くなりました。

今年も桜咲く4月5日に花壇の手入れ作業に参加、花木の植え付け、バラの剪定、そしてモヤの片付けを行いました。今後も女性会員の邪魔に成らぬ様、花壇の美化活動に参加してまいります。

男手が必要な時は喜んで参加しますよ・・・



インターガーデンのボランティア活動

桑東 水野 典子

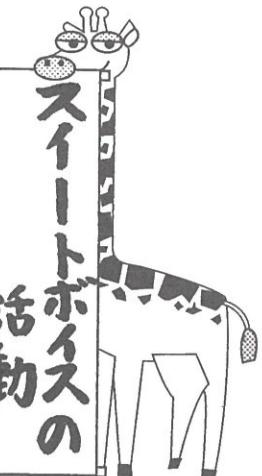


松リインターハロの両脇に、花壇を整備しているクラブがあります。町の玄関口にあたる場所でもあり「良い印象を」との思いから花好きの女性が集まって始めた花壇作りです。活動を始めて14年目になります。

町から補助金はありますが、それだけでは足りないので、それを持ち寄った苗で花壇作りを進めています。長い年月を重ねて立派な花壇になつたと思えるほどになつてきました。一番大変だなあ」と思つるのは夏の水やりです。

「私が花を作るのは、自分の庭でも、どこだって同じな」とかく家の庭先だけをきれいにしがちな人が多い中で、こう達観した方もいます。

リーダーがいて、そこに協力してくれる仲間がいる、自ら進んで社会事業などに参加する人をボランティアと言います。経済的には随分と豊かになつたこの時代に、どこかで何かを助け合う心を持つたら、もつと楽しい社会になるだろうなあ...と思ひます。



スイートボイスの活動は、昭和60年からの記録が残っており、長年活動を続けております。

活動内容は、「町の広報」「議

一報下さい。

会だより」「社協だより」「まつかわら版」を録音し、目に障がいのある方に聞いて頂いておりまして、現在11名で楽しくなごやかに、やっております。

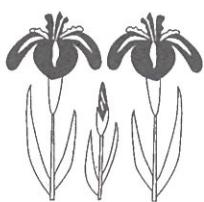
また私達は、月一回の定例会後は自宅で空いた時間に、朗読録音する、いわばゆるーい活動です。長年続いて来た理由もそこにあるのですが……と思っています。

一緒に活動して下さる方、大歓迎です。是非、社協まで「連絡下さい。

お待ちしております。

また「ひまわり荘にて月一回、対面ボランティア」と言つ事で、サービスにお邪魔して、季節の歌や昔懐しい歌を歌つたり、昔の行事や生活の話をしたり、お聞きしたり、紙芝居をしたり楽しく交流をさせて頂いております。

10月のふれあい広場には、とん汁とコーヒーを販売し、大好評です。



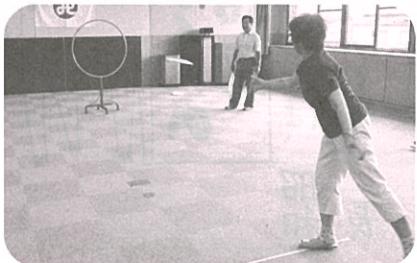
い)いとし児会 ⑥ シニア子育て応援隊(高森町)交流会

4月25日、いとし児会さんとシニア子育て応援隊さんの交流会がありました。シニア子育て応援隊さんは、高森町に開所される子育て支援センターでの活躍が期待されている新しい子育て応援グループです。この日は、「いとし児会さんにボランティア活動のアドバイスをお聞きしたい」と高森町から会員さん11名、社協職員2名においていただきました。いとし児会さんから4名の方に出席いただき、活动中は会員同士の声のかけ合いで大切に活動後はすこりとした疲れを感じられますよ」とい、たお話を聞かせていただきました。身近に同じ子育ての応援グループさんがいると鬼うどん強いですね。



一円募金がカタチに♪

毎年多くの皆様にご協力いただいている一円募金。皆様のあたたかい気持ちがこんなカタチで活かされています。…ありがとうございます…



フライングディスク!!

室内でも、室外でも楽しめます♪ご利用ください。

一円募金号(車両)♪

今年のレンゲリリジの会
バスハイクでも活躍予定!

- お問い合わせは…
松川町社協
(三六一三七七八)
- 冊子は数に限りがあります。
一冊五〇〇円です。

情報や、町のボランティアさんの活動の様子、また、町内福祉施設の活動報告も載つてあります。「集会には行けなかっただけど内容を知りたいな」冊子を使つて学習会をやりたい!そんな方がいらしゃいましたら、お声がけください。

福社を考える集会
今年も多くの方にご参加いたしました福社を考える集会。そこで使用した冊子には、今回のテーマ「子育てに関する

ランが、こぞつて熱戦を展開し空前の盛り上がりを見せる大相撲。その人気に水をさすような暴力事件、さらには巡業中に再燃した、

「女人禁制」の問題が大きく報じられ、論議を呼んでいる。

土俵を神域とみなし、女性が上がるこことを禁じてきた相撲界に対して反発の声があがっている。土俵上で挨拶の最中に倒れた地元市長を助けようとした女性に対して、土俵から降りるよう放送した相撲協会側の言動に批難が集まつた。伝統を尊重し、古くからの習わしを押し通そうとする協会に対して、差別を無くし新しい時代に相応したやり方を求める意見が、激しいぶつかり合いを見せ、どちらに陣取があがるのか注目を集めている。

新年度を迎えて、様々な地域活動が始まり、その重要性が益々大きくなる女性の存在。男女それぞれの良さが發揮される社会の実現が強く望まれる。

福社を考える集会



ほーい元気

北島 正隆

